

市議会だより

表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

「伊東かるた」とめぐる

“伊東の魅力”再発見



※『みかんの花咲く丘』記念碑
伊東・大仁線（亀石峠）の中腹

※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

『みかんの花咲く丘』

戦後、西小学校からNHKのラジオを通して「みかんの花咲く丘」のメロデーが日本中に流れ、少女歌手川田正子の歌声は人々を魅了しました。

「伊東かるた」解説書より

主な内容

- | | | | |
|-----------------|-------|----------------------|--------|
| ○3月定例会の概要 | 【P.2】 | ○常任委員会だより | 【P.11】 |
| ○予算大綱質疑（8議員が質疑） | 【P.4】 | ○新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 | |
| ○一般質問（11議員が登壇） | 【P.7】 | | 【P.12】 |



令和3年3月定例会

令和3年度一般会計予算を賛成多数で可決 特別会計6件、企業会計3件についても可決

3月定例会を2月19日から3月18日までの28日間の会期で開会しました

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第15号	令和2年度伊東市一般会計補正予算(第10号)専決処分の報告承認について	市内飲食店における新型コロナウイルス感染症対策奨励金支給事業に関する一般会計補正予算について、令和3年1月15日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市議第60号	伊東市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する等の条例	地方公務員法第57条に規定する、技能労務職員を採用するに当たり、伊東市一般職の職員の給与に関する条例の改正を行うとともに、単純な労務に雇用される職員の給与に関する条例を廃止するもの	市長	全会一致で可決
市議第61号 👉 討論	伊東市介護保険条例の一部を改正する条例	保険料額の該当期間及び算定に用いる合計所得金額並びに基準所得金額の改正、低所得者の保険料軽減が行われている第1号被保険者の保険料の減額賦課期間の改正等の条例改正	市長	全会一致で可決
市議第62号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	国民健康保険税の被保険者間の負担の公平化及び低所得者の負担軽減を図るため、基礎課税額及び介護納付金課税額の賦課限度額を改める等の改正	市長	全会一致で可決
市議第63号	所得税法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	所得税法等の一部を改正する法律の施行により租税特別措置法が改正され、延滞金の割合の特例に関し平均貸付割合の規定等がされたことに伴う関係条例の改正	市長	全会一致で可決
市議第64号	伊東市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	耐用年数を経過し、老朽化が著しく政策空家として管理している市営住宅について用途廃止を行うための改正	市長	全会一致で可決
市議第81号	伊東市新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給に関する条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症に感染した(感染が疑われる場合を含む。)国民健康保険加入の被用者に対して支給する傷病手当金について、国の財政支援期間に合わせて適用期間を延長するもの	市長	全会一致で可決
市議第65号	令和2年度伊東市一般会計補正予算(第11号)	各種事務事業経費の整理、ワクチン接種や資金融資などの新型コロナウイルス感染症関連の予防対策や経済対策経費、令和3年度当初にかけて切れ目のない経済対策事業を実施するための経費等を計上	市長	全会一致で可決
市議第66号	令和2年度伊東市競輪事業特別会計補正予算(第2号)	車券の売上げが好調に推移し、見込みを上回ることから、歳入において車券売上金を増額し、歳出において車券売上金の増額に見合う勝者投票払戻金や競輪施設改善基金への積立金の追加等13億円の増額	市長	全会一致で可決
市議第67号	令和2年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	一般被保険者高額療養費等の増額、各種事務経費等の整理を主な内容として850万2,000円の増額	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第68号	令和2年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	広域連合に納付する後期高齢者医療保険料負担金や保険基盤安定負担金を増額するとともに各種事務経費等の整理を行い、1,748万1,000円を増額	市長	全会一致で可決
市議第69号	令和2年度伊東市下水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収支については、新型コロナウイルス感染症の影響による下水道使用料の減額及び企業債利息の減額、資本的収支については、交付金事業の前倒しに伴う企業債及び国庫補助金の増額と、施設の整備改築に係る委託料及び工事請負費の増額を主な内容として計上	市長	全会一致で可決
市議第70号	令和2年度伊東市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的収支については、新型コロナウイルス感染症の影響による給水収益の減額及び燃料費調整単価の下落等による動力費の減額、資本的収支については、奥野ダム維持管理事業の見直しによる諸負担金の減額を主な内容として計上	市長	全会一致で可決
市議第71号 市議第80号 討論	令和3年度伊東市一般会計予算、特別会計予算6件、企業会計予算3件	各会計の概要は下表をご参照ください。	市長	下表をご覧ください
市議第82号	令和2年度伊東市一般会計補正予算(第12号)	新型コロナウイルス感染症対策中小企業等応援給付金に関し、第2回目実施の不足分及び第3回目実施分の計上、また国が実施する「緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金」の申請サポート業務に対する補助金を計上	市長	全会一致で可決
市選第18号	固定資産評価員選任の同意について	中村一人氏(松原)	市長	全会一致で選任に同意
発議第6号	緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金の給付要件緩和を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員9名*	全会一致で可決

※各会派代表者及び会派に所属していない議員全員

令和3年度 市長経営方針

新しい伊東スタイルへの挑戦

みんなで創る新たな未来

ボトムアップ型のまちづくりを継続しつつ、伊東らしいニューノーマルの形を模索しながら、新たな時代に対応した持続可能かつ柔軟な市政運営を進める

主な新規事業

- サテライトオフィス等推進事業
- コミュニティエフエム放送局設備整備事業
- 自治体クラウドサービス利用事業
- キャッシュレス納税導入事業
- 認定こども園施設型給付事業
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
- 新型コロナウイルス感染症検査事業
- 農業振興地域整備計画策定事業
- 伊東温泉宿泊促進事業
- 子供の移動経路施設整備事業
- 伊東公園公衆トイレ改築事業
- 角折住宅住戸改良事業
- 新図書館建設事業
- 市民運動場人工芝生化事業

ほか

令和3年度各会計予算

◎全会一致で可決、○賛成多数で可決

区 分		当初予算額	前年度対比	審議結果
会計別				
一 般 会 計		272億7,000万円	99.2 %	○
特 別 会 計	競 輪 事 業	171億3,000万円	93.7 %	◎
	国民健康保険事業	87億円	99.3 %	◎
	土 地 取 得	2,600万円	99.8 %	◎
	霊 園 事 業	4,100万円	149.6 %	◎
	介 護 保 険 事 業	84億2,800万円	105.7 %	◎
	後 期 高 齢 者 医 療	21億7,700万円	102.1 %	◎
	病 院 事 業 会 計	5億4,847万円	68.7 %	◎
下 水 道 事 業 会 計		29億2,264万円	100.2 %	◎
水 道 事 業 会 計		27億1,416万円	99.0 %	◎
合 計		699億5,727万円	98.3 %	-

※ 病院事業会計、下水道事業会計及び水道事業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額



予算大綱質疑



会派及び会派に所属していない議員ら8議員が質疑しました

～市長施政方針及び各会計予算案について～



(文面の掲載量は各会派の人数に応じており、登壇順に掲載しています。会派構成は10ページをご覧ください。)



正風クラブ
みやざきまさしげ
(宮崎雅薫議員)

下水道事業について、玖須美・川奈地区の整備の進捗状況とともに、今後の計画を伺う

市長

汚水幹線管渠^{かんきょ}の延伸及び鉄道横断工事を進めており、当該地域の整備について令和八年度の完成を目指す

玖須美・川奈地区の面整備の進捗状況については、現在、国道一三五号川奈口交差点付近から川奈駅踏切に向けて汚水幹線管渠の延伸と川奈駅踏切付近の鉄道横断工事を進めている。

また、令和三年度以降の事業計画については、引き続き、幹線管渠の整備を進めるとともに、面整備を行い、老朽化した水無田団地の地域汚水処理施設をはじめ、当該地域に存する民間

分譲地の汚水処理施設等を受け入れる計画で、令和八年度までの完成を目指している。

コロナ禍において停滞した市内観光及び産業に対する施策について伺う

市長

イベント開催や事業者への助成支援などを行い、市内活性化策を打ち出していく

観光施策としては、本市のブランドイメージの指標となるブランドブックに沿った各種イベントの開催や国内外に向けたプロモーションの展開を行っていく。また、南部地域における観光案内をワンストップで行う取組の支援や、ペットツーリズム及び修学旅行の誘致などについて、伊豆高原観光オフィスと連携を図る中で、積極的に進めていく。また、ロケの誘致及び受入れを行うことにより本市の認知度向上を図り、誘客促進につなげていく。

産業施策としては、引き

続き、建設助成、起業支援、金融施策など多岐にわたり実施するとともに、中心市街地の活性化策として、商店街が実施するイベント等に対する支援や「I・T・O・M・A・R・C・H・E」の開催等による町なかのにぎわい創出を図り、伊東商工会議所と連携しながら、効果的な市内商工業の振興策や中心市街地活性化策を検討し、積極的な支援を行っていく。

『その他の質疑』二五項目



自民・伊東新時代。
おおかわかつひろ
(大川勝弘議員)

観光商工費における「伊東温泉宿泊促進事業」の内容及び今後の見通しを伺う

市長

宿泊の促進と観光施設の利用促進につながる本市独自のキャンペーンを実施する

伊東温泉宿泊促進事業は、首都圏における緊急事態宣言発令や国のGO・TO・ラベルキャンペーンの一時停止などにより、大きな打撃を受けている市内経済の回復を図るため、本市独自の宿泊割引キャンペーンを実施するものである。

伊東観光協会に加盟している旅館、ホテル等に宿泊された方に対し、宿泊割引と観光施設で利用できるクーポン券を併せて、おおむね五〇〇〇円のインセンティブを付与し、宿泊の促進と観光施設の利用促進につなげることを考えている。

GO・TOトラベルキャンペーンが終了し、宿泊需要が落ち込むタイミングでの実施を検討しているが、新型コロナウイルス感染症の状況や国のキャンペーンの運用状況を注視し、より大きな事業効果が見込める時期に実施できるよう柔軟に対応していく。

『その他の質疑』一二項目



公明党
しのはらみねこ
(篠原峰子議員)

地域福祉の充実に関連し、災害時における避難行動要支援者名簿の作成状況及び活用方法について伺う

市長

約二五〇〇人の登録があり、民生委員への情報提供をはじめとした、支援体制の構築を進めている

災害発生時に、高齢や障害などの理由により、自ら避難することが困難な方を対象として作成する避難行動要支援者名簿は、災害対策基本法に基づき、市町村において作成するものである。

本市の名簿登録人数は、令和二年七月現在で二五四〇人であり、名簿登録者のうち約半数の一三六〇人から、災害時によらず平常時においても情報提供を行う

ことへの同意を得ており、令和二年八月には、地区ごとの要支援者名簿を民生委員に提供している。

今後、自主防災会に対し要支援者の避難に関する協力を依頼し、要支援者の情報提供や、一人一人の避難方法を定めた個別計画の作成を進めていきたい。

『その他の質疑』 一七項目



清和会
すぎもと かずや
(杉本憲也議員)

予防接種により健康被害が生じた場合、予防接種法に基づき市町村が医療費等の給付を行う救済制度があるが、新型コロナウイルスワクチン接種における本市の救済措置を伺う

市長

国の審査会において、ワクチン接種による健康被害であると認定された場合に給付される

新型コロナウイルスワクチンの接種により引き起こされた副反応によって、生活に支障が出るような障害が残るなどの健康被害が生じた場合については、予防接種法に基づく健康被害救済制度の対象となり、特例的に全額国が負担することとなっている。

健康被害救済制度の給付額については、健康被害の程度等に応じて、医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料などの区分があり、A類疾病の定期接種と同様の金額が設定されているが、市に申請がされた後に、県を通じて国へ進達され、国の審査会において、新型コロナウイルスワクチンの接種によるものと認定された場合には、市から給付されることとなる。

『その他の質疑』 二二項目



日本共産党
しげおか ひでこ
(重岡秀子議員)

新図書館建設事業の基本計画には管理運営計画も含めるとのことであるが、指定管理者制度についてどのように検討されるのか

市長

訪れる方の目線を最優先に考え決定していく

基本計画においては、基本構想で定めた蔵書目標等の高度な図書館サービスを提供する計画を取りまとめ、開館日数及び開館時間等を検討していく。

管理運営体制については、訪れる方の目線を最優先に勘案する中で、民間委託及び直営での運営における双方のメリット、デメリットの検証とともに、運営経費など総合的に検討し、決定していきたい。

『その他の質疑』 六項目

定例会における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

マスク着用、消毒液の設置とともに、議場、委員会室の全ての出入口を開放して換気を促し、会議に臨みました。

マスク未着用とした演壇にはアクリル板を設置した上で、発言後は、その都度アルコールによる演壇の消毒を実施しました。

※議員写真にアクリル板が写っています。ご了承ください。



インターネット
中継のご案内

伊東市議会では、本会議の録画映像をインターネットで配信しております。

本紙面に掲載しております、三月定例会における大綱質疑、一般質問の様子もご視聴いただけますので、ぜひご覧ください。



※この録画映像は、伊東市議会の公式記録ではありません。各会議の公式な記録は、後日調整される会議録をご覧ください。



鈴木絢子議員
(会派に所属していない)

高齢者や子供たちが安全で安心して歩行できる環境整備に向けた整備案を伺う

市長

歩道のバリアフリー化に関しては、段差解消のため歩道切下げ工事等を順次行うとともに、子供たちの歩行環境整備に関しては、通学路合同点検により抽出された危険箇所について、計画的に整備を行っていく。

『その他の質疑』 二項目



田久保眞紀議員
(会派に所属していない)

市内経済が大きな打撃を受けている中、市民運動場人工芝生化に約7億円を投じることについて考えを伺う

市長

長年にわたり施設整備及び砂ぼこり対策の要望があることに加え、工事による市内への経済波及効果とともに、コロナ終息後には誘客対策の起爆剤となり得ると考え、実施することとした。

『その他の質疑』 三項目



浅田良弘議員
(会派に所属していない)

競輪事業特別会計における繰出金の計上に関し、グレードの高い開催がない中で、単年度収支の見込みを伺う

市長

収益性の高いミッドナイト及びナイター競輪での収益確保と、売上げが好調に推移しているインターネット販売の強化を図り、単年度収支の黒字を継続していきたい。

『その他の質疑』 三項目

本会議で行われた討論の概要

※登壇順に掲載しています。

市議第六十一号 伊東市介護保険条例の一部を改正する条例
《賛成》 日本共産党

運営が踏襲され市民の求めるものから乖離すると思われるため反対する。

介護保険料は高齢化などでサービスが増えれば値上げせざるを得ない仕組みであり、現在も負担感が大きい。しかし今回の条例改正において、近隣では値上げを決めた市町が多い中、基金を六億円余りも繰り入れて保険料を据え置いたことは、コロナ禍における市民生活の困難な状況を考えての英断と評価し、賛成する。

《賛成》 正風クラブ

歳入の減少が見込まれる厳しい予算の中で、長年の要望であった市民運動場の人工芝生化事業やコロナ対策、防災対策、市民サービスの向上、観光・商店街の振興など、事業の一つ一つの積み重ねが市長の掲げている「ボトムアップによる市政運営」の成果として市民の声を予算に反映させている点を評価し、賛成する。

《反対》 日本共産党

子育てや教育分野などの市民要望を受けた予算は評価する。しかし、大型公共事業が多い一方、駅周辺地区整備事業などは優先順位がはっきりせず、中心市街地の空洞化への対策も弱い。また移住やテレワークに関する施策、空き家対策など

会派構成は10ページをご覧ください

ど、コロナ禍を乗り越えるための有益な経済振興策も不十分と考え、反対する。

《賛成》 公明党

今後も長引くことが予想される新型コロナウイルス感染症による影響で落ち込んだ市内経済や市民生活を守り支えていくため、また、市税の大幅な減収が見込まれる中でありつつも、市民に希望と安心・安全を与えるための積極的な事業が盛り込まれていると受け止め、市長の市民の声を形にする実現力を期待し、賛成する。

《賛成》 清和会

市税収入が落ち込む中、市長の経営方針「新しい伊東スタイルへの挑戦」に合致した予算配分であり、未来へ向けた投資が随所に見える。新型コロナウイルス感染症対策に対しても繰越明許費を含め六億四千万円を超える予算計上であり、「みんなで創る新たな未来」へ向け本予算を最大限活用する事を望み賛成する。

一 般 質 問

11 議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています)



さとうしゅう
佐藤 周 議員
(正風クラブ)

予防歯科に対し、費用補助等の支援策を講じる考えはないか伺う

八〇歳になっても二〇本以上自分の歯を保つことを目的とする「八〇二〇運動」への入り口として、虫歯をつくらないための定期的な予防歯科に対し、費用補助等の支援策を講じる考えはないか伺う。

市長

保険診療適用の状況及び他市での補助制度の状況等を踏まえ、検討していく

予防歯科に対する施策としては、一歳六か月・三歳健診や二歳健康教室においてフッ化物歯面塗布を行っており、さらに、永久歯が生え始める四歳から五歳児を対象に、保育園・幼稚園において「フッ化物洗口事

業」を実施するなど、継続した予防対策に取り組んでいる。また、歯科健康教室の中で、歯磨きの方法や習慣づけについての講話を実施するとともに、定期的な歯科医院への受診を呼びかけている。

予防歯科に対する費用補助等の支援策については、保険診療適用の状況や他市での補助制度の状況等を踏まえて検討していく。

『その他の質問』一〇項目



すぎもとかずひこ
杉本一彦議員
(自民・伊東新時代。)

「SDGs未来都市」の選定へ応募すべきと考えるがいかがか

内閣府地方創生推進室が取り組んでいる「SDGs(エス・ディー・ジーズ)未来都市」の選定について、風光明媚な本市の将来のまちづくりを考える上で、持

続可能な開発目標の推進に取り組むことは有意義であると考えことから、「SDGs未来都市」の選定への応募に向け、準備を進めるべきと考え、見解を伺う。

市長

令和四年度の募集に向けて検討していく

「SDGs未来都市」については、選定された場合、国からモデル事業に係る補助を受けられるほか、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市として全国に発信されるなどのイメージアップ効果が期待できるものと認識している。

応募に当たっては、SDGsの理念に沿った、経済・社会・環境の三側面で新しい価値を創出するモデル事業の内容が重要になるため、本市にふさわしい事業としてどのような取組が可能であるのか、令和四年度の募集に向けて検討していきたいと考えている。

『その他の質問』六項目



ながさわまさし
長沢 正 議員
(公明党)

マイナポータルにおける「ぴったリサービス」の活用状況について伺う

政府が推進する自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)の重要性に鑑み、本市においても、行政手続のオンライン化に本格的に取り組んでいくことと思うが、現状の取組に関し、マイナポータルにおける「ぴったリサービス」の活用状況について伺う。

市長

一七の行政手続を登録しているが、本市における電子申請の利用実績はない

「ぴったリサービス」は、平成二九年七月から運用が開始され、本市においては、母子保健、児童手当、児童扶養手当、保育、就労証明書に関する一七の行政手続

を登録しているが、現在まで電子申請の利用実績はなく、手続方法の確認や申請書の印刷などにおいて活用されているものと考えられる。

今後、国においては、本サービスの利便性向上を目指していることから、本市においても、電子申請可能な行政手続数の拡大などにより、利用促進を図っていく。

『その他の質問』 三項目



しのみやかずひこ
四宮和彦議員
(清和会)

市民から信頼される市政実現のため、内部統制に関する方針の策定は進められているか伺う

前市長の収賄事件の責任を取るとして若山副市長が退職を表明されたが、市民からの信頼を回復し、健全な市政実現のための体制づ

くりをなし得たとするためには、行政組織内に内部統制制度が確立されていることが最低限必要であると考えるが、内部統制に関する方針の策定は進められているか伺う。

市長

業務手順書を作成し、常に法令を意識しながら、適正に業務を執行するための環境整備を進めている

現在、本市においては、内部統制に係る整備に向け、業務手順書の作成に取り組んでいるところである。内容としては、業務プロセスを可視化し、客観的に把握及び共有することで、業務の属人化防止、効率化及びリスク管理に資することを目的としており、業務手順書中に、関係法令等を記載することで、常に法令を意識しながら、適正に業務を執行する意識づけにつなげていくことを考えている。

『その他の質問』 六項目



さととうつひこ
佐藤龍彦議員
(日本共産党)

PCR検査等の費用に対する助成をすべきと考えるがいかがか

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するためには、無症状感染者を特定することが重要であり、誰もが自らの判断で検査を受けることができる体制を構築すべきと考えることから、市として、検査費用に対する助成をすべきと考えるが、いかがか。

市長

居住系施設に入所する際の自費によるPCR検査の費用助成を予定している

PCR検査等の実施体制については、現状、かかりつけ医などの医療機関を受診し、医師の判断の下に検査が受けられる体制が構築されている。

新年度においては、市内の高齢者施設及び障がい者施設等のうち、居住系施設に入所する際に、自費によるPCR検査の受診への費用助成を予定しており、その他の無症状者に対するPCR検査体制や助成制度については、医師会との協議を進めているところである。

『その他の質問』 一項目



とりいやすこ
鳥居康子議員
(公明党)

高齢者の生活の足を確保するための住民主体の移動支援への取組について伺う

高齢者の生活の足を確保するための住民主体の移動支援に関し、担い手を養成するためのセミナーの開催状況を伺うとともに、今後、どのように支援に取り組んでいくのか伺う。

市長
セミナーや実証実験等を実施し、地域住民主体の移動手段の創出を図っていく

地域の健康な高齢者等が、移動手段を持たない高齢者の移動や外出を支援する仕組みづくりを進めるため、静岡県モデル事業として、本年一月に高齢者移動支援セミナーの第一回目を開催したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、以降のセミナー及び運転ボランティア養成研修は、六月以降に開催を延期した。今後は、市内でモデル地区を定め、健康体操クラブ等への送迎を行う実証実験を実施し、課題や改善点の整理を行う予定である。

また、地域住民が主体となった移動支援へと事業を拡大していくに当たり、実証実験やセミナーから得たノウハウを活用していく。

『その他の質問』 四項目





すぎもと かずや
杉本憲也議員
(清和会)

「育休退園」制度を撤廃すべきと考えるが、いかがか

二歳児以下の子供が保育所に通園している場合、第二子以降の出産に伴い親が育児休業を取得するときに、当該二歳児以下の園児は保育所を原則退園しなければならぬ、いわゆる「育休退園」制度がとられているが、移住定住の促進を視野に入れた子育てしやすい環境整備の観点から、当該制度を撤廃すべきであると考えているが、いかがか。

市長

待機児童解消のためのやむを得ない制度であり、将来的には見直しを図っていく

本市では、ゼロ歳児から二歳児までに待機児童が発生する傾向にあり、限られた施設、人員の中で待機児

童の解消を図るため、やむを得ない措置として当該制度を運用している。

今後については、保育人材を確保することなどにより、当面する待機児童の減少を図るとともに、将来的には認定こども園による抜本的な解消も視野に入れる中で、制度の見直しを図っていく。

『その他の質問』 六項目



しげおか ひでこ
重岡秀子議員
(日本共産党)

相談会を開催し、空き家の解消を図るべきと考えるが、いかがか

コロナ禍において働き方や暮らし方が変化する中で、本市でも別荘分譲地などで中古物件の販売が好調であると聞くが、静岡県主催の相談会の利用促進や市独自の相談会開催により、さらなる空き家の解消を図るべ

きと考えるが、いかがか。

市長

空き家に関する相談は随時受け付けており、空き家の取引等に関する支援等を行っている

空き家等に関する問合せや相談については、建築住宅課を窓口として実施しており、この中で空き家の所有者が売却、賃貸その他市場への流通を望む場合には、公益社団法人静岡県宅地建物取引業協会を紹介し、空き家バンクへの登録を支援するなど、空き家の利用促進等の取組を行っている。

県主催の相談会等の本市における開催については、各種専門家によるワンストップ相談会となり、空き家所有者の不安や疑問点の解消に役立つと考えることから、今後の相談状況により開催を検討していく。

『その他の質問』 五項目



すずき あやこ
鈴木絢子議員
(会派に所属していない)

若者の定住を促進するため、大学等への通学費を支援する考えはないか伺う

コロナ禍においては、全国的に働き方改革が進み、テレワーク等の普及により、地元を離れる選択をせずとも働くことができる環境整備が進んでいるが、進学を機に地元を一度離れた若者が、就職を機に戻ってくることは少ないように感じる。高校卒業後の通学支援をすることで、若者の地域離れを抑え、定住へつながると考えられるが、いかがか。

市長

費用対効果や自宅通学しない方との公平性など、慎重な検討が必要と考えている

通学費支援については、地域社会や産業を支える人材確保を目的に複数の市町

にて実施されていることは承知している。

本市においても、市外へ通学する方は一定数いるが、通学への費用補助を行うことで、若者の定住につながり、費用対効果が発揮されるのかという点や、自宅通学しない方との公平性などについて、慎重な検討が必要と考えており、若者の定住促進策については、引き続き研究していく。

『その他の質問』 四項目



たくぼ まき
田久保真紀議員
(会派に所属していない)

老朽化施設の今後の計画及び維持管理について伺う

本市は現在四一八棟の公共施設を所有しており、そのうちの約七九%が老朽化しているとのことであるが、改修・廃止や新設を含めた今後の計画及び維持管理について伺う。

市長

維持管理に係る計画を策定するとともに、優先順位をつけ改修等を実施する

庁舎や市営住宅、各小中学校など、いわゆる「ハコモノ」と称される公共施設のうち、七九%に当たる三三〇棟は、築年数が二五年を経過し、老朽化が始まっている施設である。

それら施設に関して、今後の維持管理等に係る基本の方針を定めるため、平成二八年三月に、伊東市公共施設等総合管理計画を策定した。

現在、各施設所管課において、施設ごとの長寿命化計画や個別計画を策定しており、今後においては、それらの計画を集約の上、総合管理計画の改訂を行うとともに、必要な改修等については、緊急度等優先順位をつけ実施していく。

『その他の質問』 三項目



あさだよしひろ
浅田良弘議員
(会派に所属していない)

「伊東市国土強靱化地域計画(案)」について伺う

本市の区域における国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画である「伊東市国土強靱化地域計画(案)」について、策定に向け、パブリックコメントが実施されたが、本計画の概要及び今後の計画の進め方について伺う。

市長

災害等に備えるための強靱な社会システム構築について本計画を策定し、全庁的に施策を実施していく

本計画は「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」に基づき、大規模自然災害等に対して、人命を守るとともに、

地域社会への被害を最小に抑え、迅速な復旧・復興を図るための事前対策等をまとめ、策定するものである。

今後の計画の進め方としては、令和三年二月六日から三月七日まで実施したパブリックコメントで寄せられた意見等を参考に計画を完成させ、危機管理部のみならず、全庁的に国土強靱化に資する施策を実施していきたいと考えている。

『その他の質問』 七項目

寄附行為やあいさつ状の禁止について

市内において、議員が次の行為を行うことは公職選挙法で禁止されています。ご理解とご協力をお願いいたします。

- 答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等、時候のあいさつ状を出すこと
 - 有料のあいさつ広告を出すこと
 - 政党、その他の政治団体や親族に対するものを除き、寄附をすること
- ※寄付には、下記のものなども含まれます。

秘書等が代理で出席する場合の結婚祝	地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入	お祭りへの寄附・差入
町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入	みんなで徹底しよう 三ない運動 贈らない 受け取らない 求めない これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。	落成式・開店祝等の花輪
病氣見舞	お歳暮・お年賀	秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典
入学祝・卒業祝	葬儀の花輪・供花	

議会内の異動

二月八日
会派加入

仲田 佳正 議員

(新) 正風クラブ

(旧) 会派に所属していない

メルマガジン
配信のお知らせ

いとう市議会だより発刊のお知らせを、伊東市メルマガジン(メルマガ)として配信しています。ぜひご登録ください。



市議会内の会派構成

(令和三年四月一日現在)

正風クラブ

仲田 佳正 議員

青木 敬博 議員

佐藤 周 議員

◎宮崎 雅薫 議員

佐山 正 議員

公明党

鳥居 康子 議員

篠原 峰子 議員

◎長沢 正 議員

清和会

四宮 和彦 議員

杉本 憲也 議員

◎井戸 清司 議員

自民・伊東新時代。

大川 勝弘 議員

中島 弘道 議員

◎杉本 一彦 議員

日本共産党

佐藤 龍彦 議員

◎重岡 秀子 議員

会派に所属していない

田久保真紀 議員

鈴木 絢子 議員

浅田 良弘 議員

石島 茂雄 議員

(◎) 会派代表者、

会派構成議員は議席順)

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

ホームページにおいて、各委員会要点記録を公開しております。



総務委員会

問 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する等の条例の提案趣旨を伺う。

答 ふれあい収集事業や災害時における清掃業務、また、保育園給食を市営で行っていくことに対する市民要望など、昨今の行政需要の増大に鑑み、必要なところには必要な人員配置を行う考えの下、国に準じた給料表の導入により技能労務職を採用していくことを目的とする。



技能労務職の採用により
清掃や給食調理などの人員を確保する

問 サテライトオフィス誘致事業及びサテライトオフィス等支援事業の事業展開を伺う。

答 誘致戦略の策定や地方進出を検討する企業への働きかけにおいて、民間事業者と協働し、そのノウハウを生かすことで、これまでとは異なる積極的な活動として誘致事業に取り組むとともに、オフィスの開設費などの補助を行う支援事業につなげることで、サテライトオフィスの誘致を図っていく。

観光建設委員会

問 子供の移動経路施設整備事業における、整備箇所の選定について伺う。

答 令和3年度は、令和元年度に行った通学路合同点検により抽出された市道四辻線の池小学校付近の整備を実施する。未就学児の移動経路についても令和3年度から本事業の対象となったため、今後は保育士及び幼稚園教諭にも参加をいただいた上で、合同点検を実施していく予定である。



合同点検により抽出された整備箇所

問 大河ドラマ伊豆・富士山周遊促進連絡協議会の概要を伺う。

答 本市の祖である伊東祐親公も登場する大河ドラマ「鎌倉殿の13人」が、令和4年から放映予定である。本協議会は静岡県、大河ドラマにゆかりのある伊豆地域14市町及び富士地域6市町等により構成されており、大河ドラマの周知をはじめ、放送を契機として観光周遊に繋がる事業を展開していく予定である。

福祉文教委員会

問 介護予防サービス給付費の減額理由を伺う。

答 これまでの給付実績の推移から、介護予防事業の効果が表れていると推測する中で、介護サービス利用者の減少を見込んだことによる減額である。

問 令和3年度から導入する福祉車両の購入時期及び運用方法について伺う。

答 できる限り早い段階に、車椅子の方がそのまま乗車できるワゴン型車両を購入する予定である。運用等については、福祉事業所の利用など、他市の事例等を研究していく中で検討していきたい。

問 学校統合環境整備事業の施設修繕費の内容を伺う。

答 川奈小学校の閉校に伴い、小室コミュニティセンター内に校旗や制服等を展示し、区民がいつ訪れても学校の歴史が感じられるようなブースを設置する経費である。



147年の歴史に幕を閉じた川奈小学校

新型コロナウイルス 感染症対策特別委員会

中間報告

1 令和三年一月二二日
委員会開催

首都圏をはじめとした再度の緊急事態宣言の発令や本市でのクラスター発生による感染者数の急増を踏まえ、時機を捉えた対策をするべく、当局に対する新たな政策提言を作成することとしました。

提言事項案については、委員会開催前に各委員から提出され、委員長において、情報・周知・啓発、経済、観光・イベント、医療、教育、市の体制の六分野に区別し、協議に臨みました。

協議において、提言事項案の趣旨確認、集約等を行い、提言内容の精査、決定を行いました。

次回の本特別委員会においては、提言書の案を委員会開催前に配付した上で、提言書の決定をするための最終確認を行うこととしました。

2 令和三年一月二八日
委員会開催

既に配付した提言書案を基に内容の最終確認を行うことを確認し、協議に入ることとしました。

前回委員会での精査により集約や分野の構成を再考した結果、市民への情報・周知・啓発、市内企業等の支援、観光振興・イベント開催、医療・健康、教育現場での対策、市職員の感染症対策、国・県への要望の七分野となり、分野ごとに内容の確認を行いました。

また、委員長提案として、新たに提言事項案を提示したもののについては、趣旨説明や協議を経て、提言書に追加することとしました。

七分野二九項目にわたる提言については、令和三年二月一日に、議会を代表し、議長から市長に対して提言書を提出することとしました。

3 令和三年二月一日
市長への提言

市長に対し、本特別委員会の協議により取りまとめた提言書を提出しました。市が取り組む感染症対策や経済対策等の一助となることを願い、市政の片輪として協力体制を緊密化していきます。



令和2年6月に続き2度目の提言を行う

4 令和三年二月一九日
中間報告

令和三年三月定例会初日において、本特別委員会の中間報告をし、異議なく了承されました。

※本特別委員会「提言書」等につきましては、市議会ホームページをご覧ください。



閉会中の議会活動

令和2年12月定例会閉会から
令和3年3月定例会開会まで

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1月12日 常任福祉文教委員会協議会 | 1月28日 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 |
| 1月21日 議会運営委員会 | 1月28日 議会運営委員会 |
| 1月21日 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 | 2月3日 常任観光建設委員会協議会 |
| 1月26日 議会報編集委員会 | 2月15日 議会運営委員会 |

6月定例会の予定

6月15日(火)
開会

※日程等は、6月上旬の議会運営委員会において正式に決定します。
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。

編集後記

年度替わりに伴い始まった新生活にも、大人も子供も、少しずつ慣れて来た頃でしょうか。

環境の変化といえば、小学校の統合が進められていますが、対象校の一つである西小学校の校歌は、木下奎太郎氏による作詞であり「校歌っぽくない校歌」として有名ですが、本市が文化と縁が深いことの象徴的なものの一つと感じます。表紙にありますように、戦後、西小学校で歌われた「みかんの花咲く丘」が、ラジオを通じて全国に放送されたこともまた、郷土の誇りではないでしょうか。

議会報編集委員会

(佐藤龍彦)

委員長 佐藤 龍彦
副委員長 杉本 憲也
委員 佐藤 周
篠原 峰子
大川 勝弘

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ